

油を流さないで！

油が河川へ流出する事故が発生しています。身近な側溝などは、雨水を排水する施設であり、最終的には河川へ繋がっています。そのため油を流すと、河川が汚れてしまいます。



河川での油膜



油中和剤で処理した油が流出した状態(水路)



オイルフェンスの設置状況



オイルマットの設置(側溝)

以下のことにご注意ください。

- ◆**不要になった油**(食用油、灯油、エンジンオイル、塗料等)は、ボロ布に染み込ませる、油固化材で固めるなどしてから、廃棄物として適正に処理し、側溝等へ流さない
- ◆貯油タンクからの**油の減りが早い**、**油臭がする**と感じたら**配管の亀裂**などから油が漏れだしていないか点検をする
- ◆飲食店等の**グリストラップ(油脂分離阻集器)**を適正に維持管理する

※油が道路側溝や雨水ますから下水道雨水管や河川へ流出すると、これらの除去や清掃が必要となります。この際、清掃などにかかった費用は、流した方が負担することとなります。また、法令等による罰則が適用されることもありますのでご注意ください。

良好な河川環境を守るため
ご協力をお願いします

【問い合わせ先】

大分市環境部 環境対策課 水質・土壌担当班

TEL:097-537-5753 FAX:097-538-3302